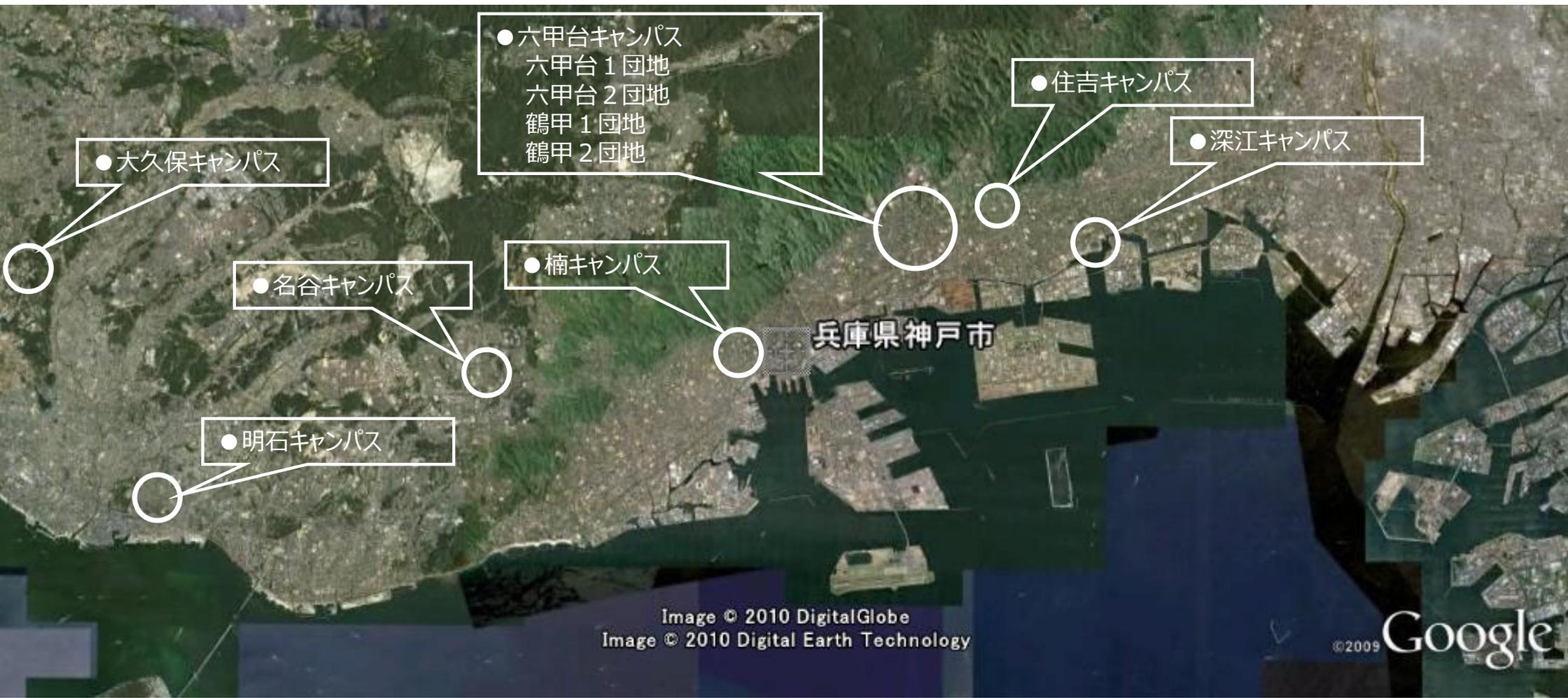


神戸大学インフラ長寿命化計画（個別施設計画）

第4期中期目標期間アクションプラン

■主要キャンパスの位置関係



※主要キャンパスとは、学生・生徒・教員等が教育研究のために常時いるキャンパス、附属病院があるキャンパス

■ 六甲台キャンパス



■ 明石キャンパス



■ 大久保キャンパス



■ 楠キャンパス



■ 名谷キャンパス



■ 深江キャンパス



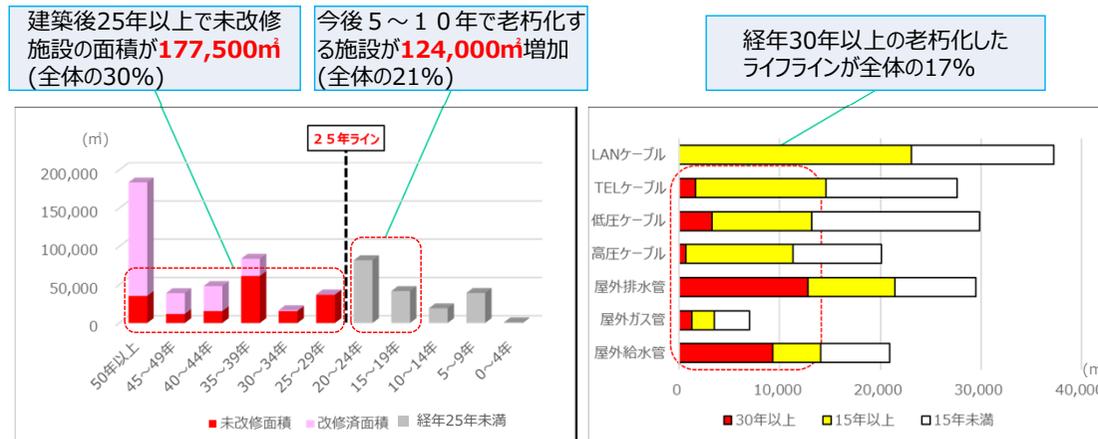
■ 住吉キャンパス



安全・安心な教育・研究施設の永続的な維持のために

計画の背景・目的

本学の保有建物は棟数424棟、延べ面積で約59万3千㎡有しているが、このうち建築後25年以上で未改修の建物が全体面積の約30%（177,500㎡）を占めている。今後10年で建築後25年以上の建物が全体面積の約21%（124,000㎡）増加し、老朽化した建物が急激に増加する状況にある。基幹設備については、設置後30年を超えている設備が全体の約17%を占めている。



建物及び基幹設備ともに老朽化が著しく今後ますます老朽化が進行していくことが懸念される。経年30年以上でライフラインの事故発生率が急増

インフラ長寿命化計画策定

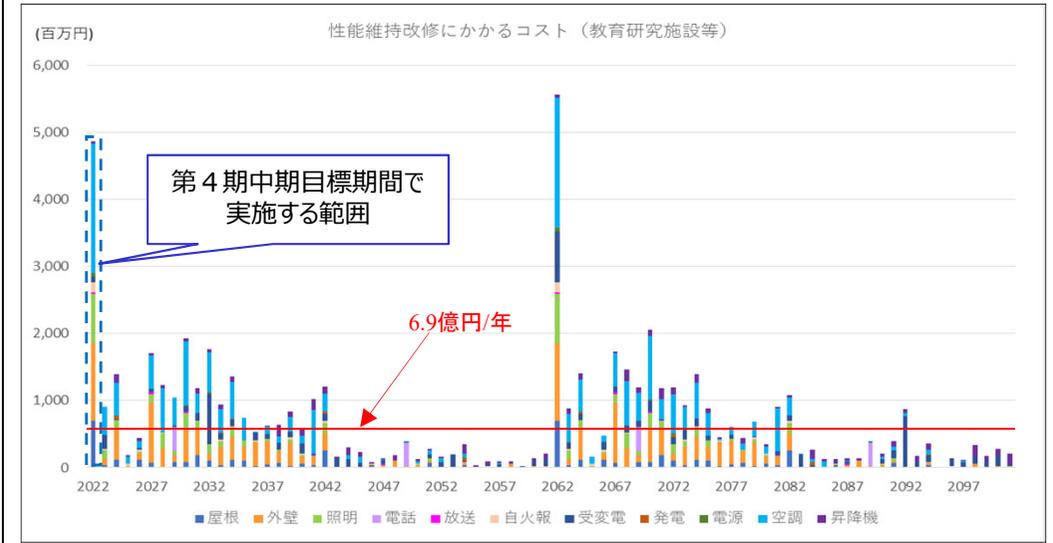
- 従来のライフサイクルから長寿命化ライフサイクルへ転換し、既存施設を最大限活用
- 既存施設の活用により、トータルコストの縮減や予算の平準化を図り、持続可能な施設整備や維持管理を実現



計画の方針

安全性等の問題がある施設について、部位ごとの整備計画を策定し、懸念される課題を解消し、安全・安心な教育研究環境基盤を確保する。

- 整備方針
 - それぞれの部位毎に更新周期、評価基準、長寿命化に向けた考え方を検討する。



性能維持にかかるコストは、教育研究施設等で年間約6.9億円必要である。

第4期中期目標期間では改修予定年度が2022年まで、現地点検の結果C、D評価の部位を実施する計画とした。

- その他の計画
 - 構内通路改修計画
 - 小規模建物の耐震化
 - トイレ改善計画
 - バリアフリー計画

■ 外壁改修計画について ■

現状と課題

現状
外壁仕上げ材の剥落の原因となる浮きや漏水の原因となるひび割れのある施設が老朽化により増加している。このため、安全・安心な教育研究基盤を確保するため、計画的な更新が必要である。

対象建物：大学全体 424棟（2021年度）

課題

安全上・機能上問題がある建物から改修工事を実施しているが、更新周期を超過した建物が今後も増えていくため、整備済みの建物数が減少しない。

整備方針

整備の方針

施設区分A-1（教育研究施設）、A-2（管理施設等）のうち、経年評価及び点検評価を踏まえ、総合評価C又はDとなったものについて整備を行う。

外壁の浮きやひび割れなどの補修や仕上げ材の改修などを行う。

評価C 33棟 評価D 1棟（2021年度）

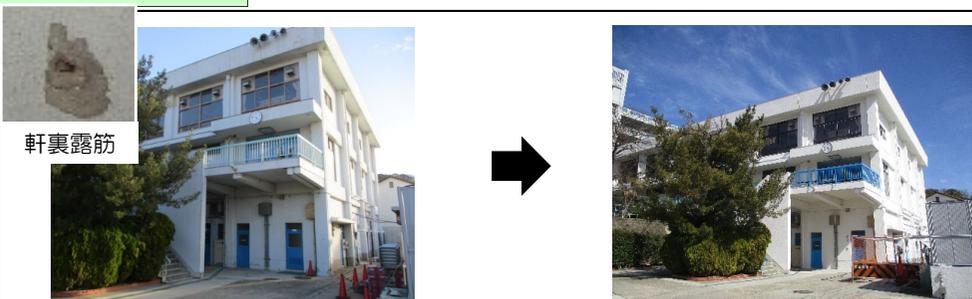
更新周期：10年（タイル）、20年（吹付）

評価C：広範囲に劣化し、安全上・機能上、不具合発生の兆しがある。

評価D：安全上・機能上問題があり、躯体の耐久性に影響を与える、または、設備が故障し施設運営に支障を与える恐れがある。

改修イメージ

6年間で799,099千円必要 詳細は別紙による



■ 防水改修計画について ■

現状と課題

現状

防水の老朽化により漏水被害のある施設が増加している。このため、安全・安心な教育研究基盤を確保するため、計画的な更新が必要である。

対象建物：大学全体 424棟（2021年度）

課題

安全上・機能上問題がある建物から改修工事を実施しているが、更新周期を超過した建物が今後も増えていくため、整備済みの建物数が減少しない。

整備方針

整備の方針

施設区分A-1（教育研究施設）、A-2（管理施設等）のうち、経年評価及び点検評価を踏まえ、総合評価C又はDとなったものについて整備を行う。

屋上シート防水の更新や塗膜防水の改修などを行う。

評価C 38棟 評価D 1棟（2021年度）

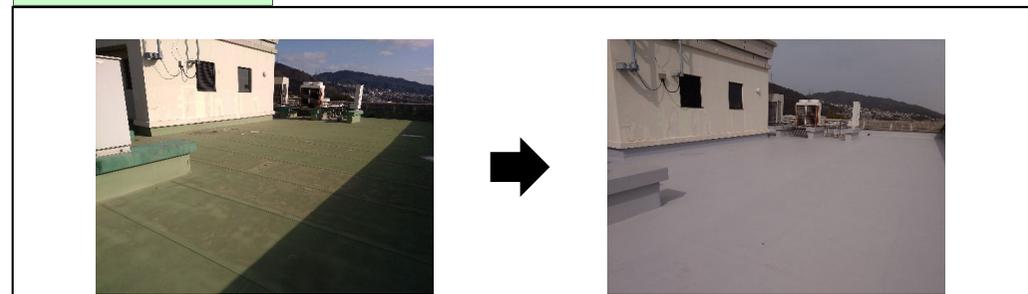
更新周期：20年（シート防水）、金属屋根（30年）

評価C：広範囲に劣化し、安全上・機能上、不具合発生の兆しがある。

評価D：安全上・機能上問題があり、躯体の耐久性に影響を与える、または、設備が故障し施設運営に支障を与える恐れがある。

改修イメージ

6年間で450,398千円必要 詳細は別紙による



■ 受変電設備更新計画について ■

現状と課題

現状
受変電設備は、故障時に施設全体が停電してしまうなど、ライフラインとして重要な設備である。このため、安全・安心な教育研究等の環境維持のため、計画的な更新が必要である。

対象設備：大学全体 78箇所（2022年度）

課題
老朽劣化の解消、部品供給停止への対応、電気使用状況に合わせた設備容量の過不足、警報装置や検針装置の設置等が必要である。

整備方針

整備の方針
施設区分A-1（教育研究施設）、A-2（管理施設等）のうち、受変電設備の点検評価の結果、評価C又はDとなったものについて整備を行う。
電気使用状況に応じた適切な設備容量を設定し、過不足の解消や集約化を検討、警報装置や検針装置の設置等を考慮した整備を行う。

評価C 3箇所（2021年度）

耐用年数：15年
更新周期：30年
評価C：経年30年以上又は停電及び事故に繋がるような部品供給の停止
評価D：点検結果より停電及び事故に繋がるような指摘事項あり

対象設備

6年間で75,440千円必要 詳細は別紙による



■ 電話交換機設備更新計画について ■

現状と課題

現状
電話は、ICT技術の発展により電子メール等での情報通信手段が増えている中でも、いまだに多く利用されている。電話交換機設備はキャンパス内の電話通信制御の主装置であり、グループ化や転送機能等の利便性も高く、災害発生等による停電時にも利用できるため、BCPの観点からも重要な設備である。このため、安全・安心な教育研究等の環境維持のため、計画的な更新が必要である。

対象設備：大学全体 15箇所（2022年度）

課題
老朽劣化の解消、部品供給停止への対応、利用方法に応じた設備性能の確保等が必要である。

整備方針

施設区分A-1（教育研究施設）、A-2（管理施設等）のうち、電話交換機設備の点検評価の結果、評価C又はDとなったものについて整備を行う。
利用状況に応じた適切な設備機能を考慮した整備を行う。

評価C 2箇所 評価D 0箇所（2021年度）

耐用年数：6年
更新周期：20年
評価C：経年20年以上又は長期間停止に繋がるような部品供給の停止
評価D：点検結果より長期間停止に繋がるような指摘事項あり

対象設備

6年間で1,738千円必要 詳細は別紙による



■ 自動火災報知設備（受信機）更新計画について ■

現状と課題

現状
自動火災報知設備（受信機）は、消防法に基づいて設置されている感知器等の自動火災報知設備の主装置であり、非常時の安全確保のために重要な設備である。このため、安全・安心な教育研究等の環境維持のため、計画的な更新が必要である。

対象設備：大学全体 76箇所（2022年度）

課題
老朽劣化の解消、部品供給停止への対応、建物の規模や用途等に応じた設備性能の確保等が必要である。

整備方針

施設区分A-1（教育研究施設）、A-2（管理施設等）のうち、自動火災報知設備（受信機）の点検評価の結果、評価C又はDとなったものについて整備を行う。建物の規模や用途等に応じた適切な設備機能を考慮した整備を行う。
評価C 8箇所 評価D 0箇所（2021年度）

耐用年数：8年
更新周期：P型20年、R型15年
評価C：P型は経年20年以上、R型は経年15年以上又は長期間停止に繋がるような部品供給の停止。
評価D：点検結果より長期間停止に繋がるような指摘あり

6年間で149,616千円必要 詳細は別紙による

対象設備



■ 非常放送設備（主装置）更新計画について ■

現状と課題

現状
非常放送設備（主装置）は、消防法に基づいて設置されている非常時に避難誘導を行うための非常用スピーカ等の主装置であり、非常時の安全確保のために重要な設備である。このため、安全・安心な教育研究等の環境維持のため、計画的な更新が必要である。

対象設備：大学全体 13箇所（2022年度）

課題
老朽劣化の解消、部品供給停止への対応、建物の規模や用途等に応じた設備性能の確保等が必要である。

整備方針

施設区分A-1（教育研究施設）、A-2（管理施設等）のうち、非常放送設備（主装置）の点検評価の結果、評価C又はDとなったものについて整備を行う。建物の規模や用途等に応じた適切な設備機能を考慮した整備を行う。また、自主（任意）設置のものがあつた場合は廃止検討を行う。
評価C 3箇所 評価D 0箇所（2021年度）

耐用年数：6年
更新周期：20年
評価C：経年20年以上又は長期間停止に繋がるような部品供給の停止
評価D：点検結果より長期間停止に繋がるような指摘あり

6年間で19,462千円必要 詳細は別紙による

対象設備



■ 照明設備更新計画について ■

現状と課題

現状
照明設備は、教育研究や事務作業等を行う上で、学校保健安全法、労働安全衛生法に基づいて必要な照度を確保するなど、各居室の利用において必要不可欠な設備である。このため、安全・安心な教育研究等の環境維持のため、計画的な更新が必要である。

課題
老朽劣化の解消、省エネ効果の高いLED照明への更新、用途等に応じた照度確保やセンサー式採用による省エネ対策等が必要である。

整備方針

施設区分A-1（教育研究施設）、A-2（管理施設等）のうち、照明設備の点検評価の結果、評価C又はDとなったものについて整備を行う。
省エネ効果の高いLED照明への更新、用途等に応じた適切な照度とセンサー式採用による省エネ対策等を考慮した整備を行う。
評価C 70棟 評価D 0棟（2021年度）
耐用年数：15年
更新周期：20年
評価C：経年20年以上又は安全上、機能上、不具合発生兆しのあるもの
評価D：点検結果より安全上、機能上、問題あり

6年間で547,083千円必要 詳細は別紙による

改修イメージ



老朽化した照明設備



LED照明設備

■ 空調設備更新計画について ■

現状と課題

現状
空調設備は、教育研究や事務作業等を行う上で、労働安全衛生法に基づいて必要な温度を確保するなど、各居室の利用において必要不可欠な設備である。このため、安全・安心な教育研究等の環境維持のため、計画的な更新が必要である。

課題
老朽劣化の解消、部品供給停止への対応、省エネ効果の高い高効率機器への更新、電気式やガス式等ランニングコストを考慮した空調方式の検討、面積や用途等に応じた設備容量の確保等が必要である。

整備方針

施設区分A-1（教育研究施設）、A-2（管理施設等）のうち、空調設備の点検評価の結果、評価C又はDとなったものについて整備を行う。
省エネ効果の高い高効率機器への更新、電気式やガス式等ランニングコストを考慮した空調方式、面積や用途等に応じた設備容量の確保等を考慮した整備を行う。
評価C 36棟 評価D 0棟（2021年度）
耐用年数：15年
更新周期：20年
評価C：経年20年以上又は安全上、機能上、不具合発生兆しのあるもの
GHPは経年20年以上又は累計6万時間以上稼働又は長期間停止に繋がるような部品供給の停止）
評価D：点検結果より安全上、機能上、問題あり。長時間停止に繋がるよう指摘あり。

6年間で2,210,466千円必要 詳細は別紙による

改修イメージ



老朽化した空調設備



高効率空調設備

■ 発電設備（非常用）更新計画について ■

現状と課題

現状
 発電設備（非常用）は、消防法等に基づいて設置されているもの、実験や研究の継続のため停電時に電源供給を行うものなど多種多様である。特に、法令等に基づく非常用のものは安全確保のために非常に重要な設備である。このため、安全・安心な教育研究等の環境維持のため、計画的な更新が必要である。
 対象設備：大学全体 8箇所（2022年度）

課題
 老朽劣化の解消、部品供給停止への対応、建物の規模や用途等に応じた設備容量及び性能の確保等が必要である。

整備方針

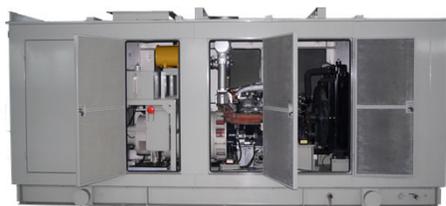
施設区分A-1（教育研究施設）、A-2（管理施設等）のうち、発電設備（非常用）の点検評価の結果、評価C又はDとなったものについて整備を行う。建物の規模や用途等に応じた適切な設備容量と機能を考慮した整備を行う。ただし、実験や研究用のもので受変電設備と連携する必要のないような小型のものは除く。

評価C 0箇所 評価D 0箇所（2021年度）

耐用年数：15年
 更新周期：30年
 評価C：経年30年以上又は長期間停止に繋がるような部品供給の停止
 評価D：点検結果より長期間停止に繋がるような指摘あり

対象設備

詳細は別紙による



■ 電源設備更新計画について ■

現状と課題

現状
 電源設備は、建築基準法に基づいて設置されている非常照明用のもの、発電設備や受変電設備等の制御用のもの、非常時の病院の医療行為継続や実験研究用のものなど多種多様である。特に、法令等にもとづく非常用発電設備や受変電設備の制御用の電源設備は安全確保のために非常に重要な設備である。このため安全・安心な教育研究等の環境維持のため、計画的な更新が必要である。
 対象設備：大学全体 24箇所（2022年度）

課題
 老朽劣化の解消、部品供給停止への対応、建物の規模や用途等に応じた設備容量及び性能の確保等が必要である。

整備方針

施設区分A-1（教育研究施設）、A-2（管理施設等）のうち、電源設備の点検評価の結果、評価C又はDとなったものについて整備を行う。建物の規模や用途等に応じた適切な設備容量と機能を考慮し、電源供給している設備の必要性や関連も考慮して整備を行う。ただし、実験や研究用のもので非常照明用発電設備や受変電設備の制御用と関連の無いものは除く。

評価C 2箇所 評価D 0箇所（2021年度）

耐用年数：15年
 更新周期：20年
 評価C：経年20年以上又は停電や事故に繋がるような部品供給の停止
 評価D：点検結果より停電や事故に繋がるような指摘あり

対象設備

詳細は別紙による



■ 昇降機更新計画について ■

現状と課題

現状
昇降機は、建物の上下階移動や重量物の運搬、バリアフリー対策の観点から重要な設備である。このため、安全・安心な教育研究等の環境維持のため、計画的な更新が必要である。

対象設備：大学全体 135箇所（2022年度）

課題
老朽劣化の解消、部品供給停止への対応、法令等改正に伴う安全基準への対応、バリアフリー対策、建物規模や用途等に応じた設備機能の確保等が必要である。

整備方針

施設区分A-1（教育研究施設）、A-2（管理施設等）のうち、昇降機の点検評価の結果、評価C又はDとなったものについて整備を行う。

法令等に伴う安全基準への対応、バリアフリー対策、建物規模や用途等に応じた設備機能の確保等を考慮した整備を行う。

評価C 0箇所 評価D 1箇所（2021年度）

耐用年数：17年

更新周期：30年

評価C：経年30年以上又は長期間停止に繋がるような部品供給の停止

評価D：点検結果より長期間停止に繋がるような指摘あり

対象設備

6年間で13,551千円必要 詳細は別紙による



外観



内装



スイッチ



機械室

■ ライフライン更新計画について ■

現状と問題

■ ライフラインの現状

本学のライフラインは、各団地に給排水・ガス・電力・通信と設置されており、給水配管については設置後30年以上経過した配管が17%以上あり、老朽化が進んでいる。給水配管以外の配管やケーブルについても老朽化が進行したものが多数ある。

■ 課題

- 老朽化した給水、排水管からの漏水や詰まりなどの事故が生じている。
- ライフラインに不具合が発生すると、実験機器の損傷や継続している実験データ損失など、教育研究に多大な支障をきたすこととなる。
- 部分的な改修や補修では、全体的な健全度を保てない。
- 事故発生時や更新時は道路掘削など、長期間構内交通に影響を及ぼす。
- 災害時給水システム（濾過装置）は整備出来ているが、配管の損傷などで避難所までの必要なライフラインが確保ができない可能性がある。
- 全体の更新費用（6期までで約15億円）は莫大のため、学内経費で予算の確保が難しい

ライフラインの老朽化による教育研究活動への支障を回避するためには、更新は必須

整備方針

- ・改修内容：給排水・ガス・電力・通信・情報
- ・対象範囲：主要10団地のライフライン
 - ①給水配管（上水・雑水・井水）
 - ②排水配管（実験・生活・雨水）
 - ③ガス配管（都市ガス・LPG）
 - ④電力設備（高低圧配管配線）
 - ⑤通信・情報設備（通信配管配線）
- ・年次計画：15カ年で年次計画を策定し、事業を平準化
- ・計画順序：①エリアごとに計画
 - ②設置後の経過年数
 - ③下流域（末端）からの施工を考慮
 - ④近い将来に再開発等が見込まれるエリアは見送る
- ・見直し：予算、老朽化状況、計画等に合わせ、適宜見直しを行う
- ・長期計画：建物改修計画のあるものは、状況等により、その際に対応
- ・改修内容：右記の基準のとおり

ライフラインの主な改修時の基準

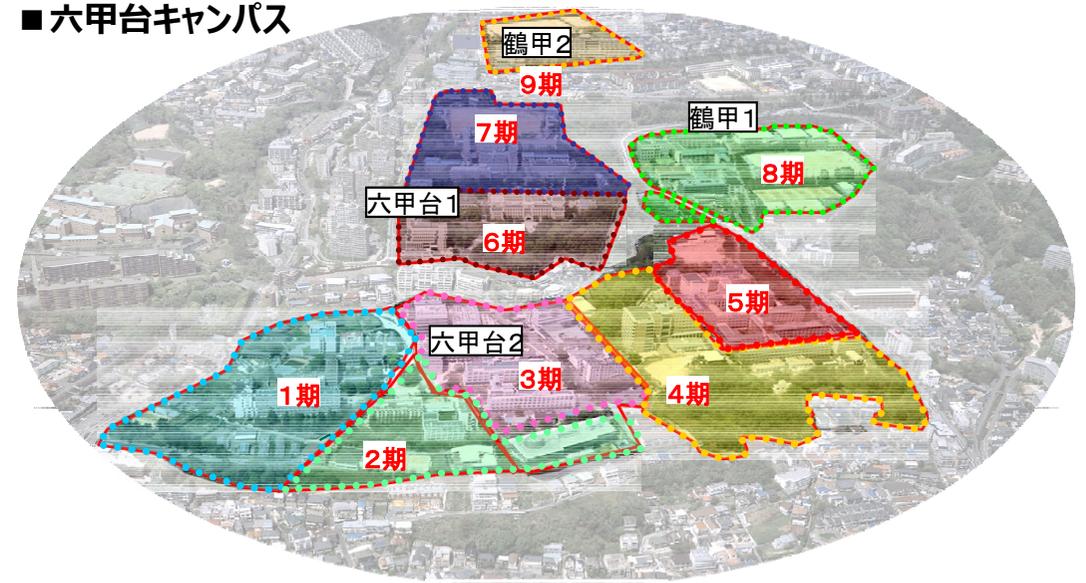
ライフライン名称	基準
給水配管 (上水・雑水・井水)	<ul style="list-style-type: none"> ・設置後30年以上経過の配管・受水槽等を、エリア毎で計画的に更新する。 ・エリアの設定は、給水・ガス・排水合わせた計画とする。 ・更新時は長寿命で地震に強い材料・工法を検討する。
排水配管 (実験・生活・雨水)	<ul style="list-style-type: none"> ・設置後30年以上経過の配管を、エリア毎で計画的に更新する。 ・エリアの設定は、給水・ガス・排水合わせた計画とする。 ・更新を行う配管については長寿命で地震に強い材料・工法を検討する。
ガス配管 (都市ガス・LPG)	<ul style="list-style-type: none"> ・設置後30年以上経過の配管を、エリア毎で計画的に更新する。 ・エリアの設定は、給水・ガス・排水合わせた計画とする。 ・更新時は長寿命で地震に強い材料を検討し更新する。
電力設備 (高圧・低圧)	<p>【受変電設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置後、経年30年を経過し、老朽化した受変電機器を更新する。 <p>【配管・配線】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経年30年を目途に更新する。 ・更新時は長寿命で地震に強い材料・工法を検討する。 ・給排水等のエリア毎の更新に併せて、ループ未済分を形成する。
通信・情報設備 (TEL・LAN)	<p>【電話交換機設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置後15年を目途に機器更新を行う。 (法定耐用年数は6年) <p>【配管・配線】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経年30年を目途に更新する。 ・更新時は長寿命で地震に強い材料・工法を検討する。
各建物内	<ul style="list-style-type: none"> ・電気、ガス、給水、排水配管の支線部分については、建物改修などの時期に合わせて整備を行うよう検討する。 ・更新時は長寿命で地震に強い材料を検討し更新する。

主なキャンパスの年次計画（案）

事業年度	団地名	主な設置年	更新対象	備考
1期	六甲台2(最西部)	1977	給水配管、ガス配管、排水管、電力、通信	平成30年度実施 ※1
2期	六甲台2(西部)	1977	給水配管、ガス配管、排水管、電力、通信	令和元年度実施 ※1
3期	六甲台2(中部)	1977	給水配管、ガス配管、排水管、電力、通信	令和2年度実施 ※1
4期	六甲台2(東部)	1977	給水配管、ガス配管、排水管、電力、通信	令和3年度実施 ※1
5期	六甲台2(最東部)	1977	給水配管、ガス配管、排水管、電力、通信	令和4年度実施予定 ※2
6期	六甲台1(南部)	1977	給水配管、ガス配管、排水管、電力、通信	令和4年度実施予定 ※2
7期	六甲台1(北部)	1977	給水配管、ガス配管、排水管、電力、通信	令和5年度概算要求予定
8期	鶴甲1	1977	給水配管、ガス配管、排水管、電力、通信	令和5年度概算要求予定
9期	鶴甲2	1977	給水配管、ガス配管、排水管、電力、通信	令和5年度概算要求予定
10期	楠(北部)	1983	給水配管、ガス配管、排水管、電力、通信	
11期	楠(南部)	1983	給水配管、ガス配管、排水管、電力、通信	
12期	深江	1978	給水配管、ガス配管、排水管、電力、通信	
13期	名谷	1984	給水配管、ガス配管、排水管、電力、通信	
14期	住吉1 大久保	【住吉1】2010 【大久保】2014	【住吉1】給水配管、排水管、電力、通信 【大久保】2014年改修工事整備済	

※1 施設整備補助金にて実施
 ※2 施設整備補助金にて実施予定
 ※明石団地については小学校、幼稚園の整備の際に実施する。

■ 六甲台キャンパス



■ 楠キャンパス



■ 深江キャンパス



■ 名谷キャンパス



■ 大久保キャンパス



■ 住吉キャンパス



老朽した配管による漏水

インフラ長寿命化計画 各部位の整備計画

インフラ長寿命化計画 概算額表(参考) (千円)

各部位毎の6年計画の合計の平均額

各部位毎の6年計画の合計

事業年度	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	計	備 考
外壁改修計画	133,183	133,183	133,183	133,183	133,183	133,183	799,099	
防水改修計画	75,066	75,066	75,066	75,066	75,066	75,066	450,398	
受変電設備更新計画	12,573	12,573	12,573	12,573	12,573	12,573	75,440	
電話交換機設備更新計画	290	290	290	290	290	290	1,738	
非常放送設備更新計画	3,244	3,244	3,244	3,244	3,244	3,244	19,462	
自動火災報知設備更新計画	24,936	24,936	24,936	24,936	24,936	24,936	149,616	
照明設備改修計画	91,181	91,181	91,181	91,181	91,181	91,181	547,083	
空調設備更新計画	368,411	368,411	368,411	368,411	368,411	368,411	2,210,466	
電源設備・発電設備更新計画	6,667	6,667	6,667	6,667	6,667	6,667	40,000	
昇降機設備更新計画	2,259	2,259	2,259	2,259	2,259	2,259	13,551	
計	717,809	717,809	717,809	717,809	717,809	717,809	4,306,853	
ライフライン更新計画	139,000	139,000	139,000	139,000	139,000	139,000	834,000	施設整備費補助金で整備
計	139,000	139,000	139,000	139,000	139,000	139,000	834,000	

計画

実績

■ 構内通路改修計画について ■

現状と課題

現状：うりポーロードなどウッドデッキによる共用の構内通路は、キャンパス内を円滑に移動する手段として、六甲台2団地等で立体通路として整備された。

課題：整備後10年以上経過し、床材であるウッドデッキの腐食によるキズやささくれなどの損傷が発生している。

計画対象

対象場所：（六甲台2）自然科学総合研究棟3号館連絡ブリッジ
（鶴甲1）国際文化学図書館棟(A棟)屋上通路

整備方針：天然木から人工木へ変更する。
整備内容としては、床デッキ及び根太の取り替え、小口ふさぎ、手摺り及び鉄骨部材の塗替えを行う。

改修イメージ



■ 小規模建物の耐震化について ■

現状と課題

現状：建築基準法の改定に伴う建築物の耐震化については、これまで緊急や危険性の高いものから耐震化をすすめており、一定規模以上の施設についてはすべて実施した。

課題：小規模建物については、なお耐震化できていないものがあるため、これらについて、計画的に耐震改修を行い、安全・安心な教育研究環境基盤の確保を図る。

計画建物

対象建物：（鶉野）育成牛舎・肥育牛舎
整備方針：腐食した鉄骨柱脚を改修することにより、柱が本来有する耐力を確保し、建物の耐震性能を向上させる。

改修イメージ



現状

耐震補強（イメージ）

■ トイレ改善計画について ■

現状と課題

～安全・安心な教育研究環境基盤の確保～

トイレについて、老朽劣化のみならず、経年による活動及びニーズの変化によるトイレ環境面の課題が増加している。これらの課題について、緊急度の高いものから計画的に改修を行い、トイレの老朽改善及び環境改善を行い、快適で安全・安心な教育研究環境基盤の確保を図る。

トイレにおける改善すべき課題

- ・利便性が悪い和式大便器の取替ニーズ。(利用者の足腰に負担)
- ・経年等による臭気の問題。

整備方針

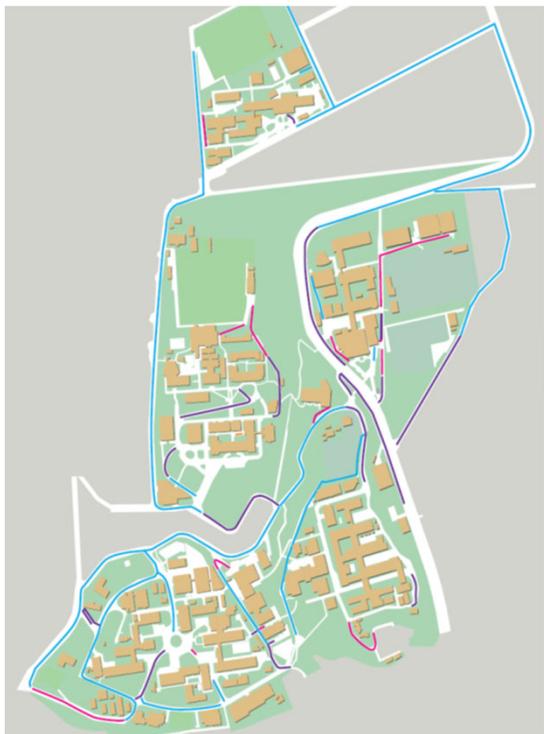
老朽化したトイレについて、実態を把握し、便所の改修（給排水管や器具の更新、内装の更新、プランの見直し等）を行い、課題を解決する。

- ・対象建物：喫緊で改修を必要とする施設（主に経年30年を超える施設）
- ・計画順序：施設区分A-1（教育研究施設）、A-2（管理施設等）のうち、点検評価の結果、評価C又はDとなるものについて整備を行う。
評価C：経年30年以上又は安全上、機能上、不具合発生の兆しのあるもの
評価D：点検結果より安全上、機能上、問題あり
- ・長期計画：建物の全面改修計画や建替計画のある施設は別途対応。

改修イメージ



◆六甲台キャンパス バリアフリー整備計画◆



3°～4.5°の一人での移動可能な勾配を青、
 4.5～7°の介助が必要な勾配を紫、
 7°以上の危険が伴う勾配を赤で示しています。

◆調査結果を踏まえた整備計画を策定

**障がいのある学生の修学支援
 充実のためにも早急な整備が
 必要不可欠**
 (必要最低限の整備に厳選)

<平成29年度施設整備費補助金により実施>



新設
EV棟

- ・EVを整備することにより
六甲台2団地内の横移動が可能に
(バリアフリー動線が確保)
- ・東地区→西地区
自然科学系図書館・百年記念館へスムーズに
移動が可能に
- ・西地区→東地区
コンビニ・食堂へスムーズに移動が可能に

■地形の特性『高低差』を活かした動線整備の検討■

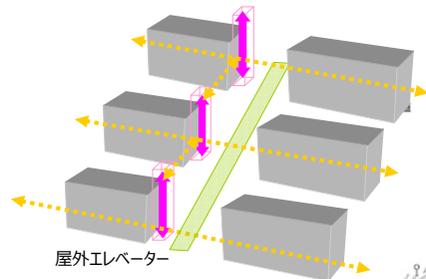
「神戸大学キャンパスマスタープラン」では、「TSUNAGU〜つなぐ〜」をコンセプトに、学生間や地域社会をつなぐための検討事項が示されている。

この中の部門別計画「キャンパス動線計画」に基づき、ユニバーサルデザインの手法を用い、キャンパス利用者の動線に大きな改善効果が期待される箇所について順次整備をすすめていく。

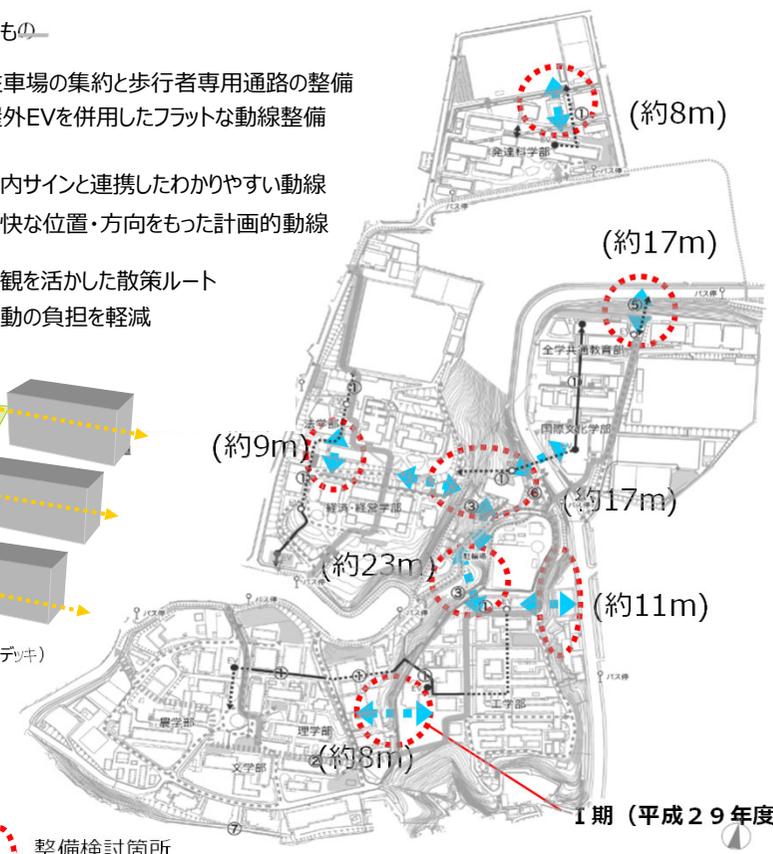
特にI期（六甲台2団地間）においては、授業等で学生・教職員のキャンパス内の移動が頻繁であるだけでなく、大学の訪問者等多くの人の往来がある。利用者の**安全性の確保、移動距離の短縮、負担の緩和、バリアフリー**の観点からも、早急な整備が必要不可欠である。今後の方針については、キャンパスライフ支援センターと協力して検討を進める。

●構内動線に求められるもの

- 安全性**
 - ・駐車場の集約と歩行者専用通路の整備
 - ・屋外EVを併用したフラットな動線整備
- 認知性**
 - ・案内サインと連携したわかりやすい動線
 - ・明快な位置・方向をもった計画的動線
- 快適性**
 - ・景観を活かした散策ルート
 - ・移動の負担を軽減



整備イメージ



整備検討箇所
(高低差解消等)

キャンパス動線整備計画 <六甲台キャンパス>

I期（平成29年度実施）

0 50 100 200 300(m)

部位：屋根

2021

連番	団地番号	団地名	棟番号	棟名称	施設区分	種別等	経年	部位別評価	
								総合評価	コメント
1	5	鶴甲2	1	本館（A）	A-1	防水	53	D	
2	2	六甲台2	50	産学連携実験室	A-1	勾配	59	C	
3	1	六甲台1	46	屋外便所	A-2	勾配	53	C	
4	5	鶴甲2	4	門衛所	A-2	防水	53	C	
5	11	鶉野	7	育成牛舎	A-1	勾配	52	C	
6	11	鶉野	8	肥育牛舎A	A-1	勾配	51	C	
7	2	六甲台2	72	風洞実験室棟	A-1	防水	43	C	
8	40	深江	8	正門守衛所	A-2	防水	40	C	
9	4	鶴甲1	36	更衣室	A-2	勾配	38	C	
10	36	名谷	7	体育館	A-2	勾配	37	C	
11	36	名谷	8	環境整備員室	A-2	勾配	36	C	
12	4	鶴甲1	39	門衛所	A-2	防水	34	C	
13	40	深江	60	体育館・課外活動共用施設	A-2	勾配	31	C	
14	2	六甲台2	107	学術交流会館	A-2	勾配	30	C	
15	2	六甲台2	110	電気室	A-1	防水	27	C	
16	40	深江	61	水先教育研究棟	A-1	勾配	27	C	
17	1	六甲台1	43	第2学舎	A-1	防水	26	C	
18	40	深江	69	極低温実験棟	A-1	防水	25	C	
19	36	名谷	9	研究実習棟	A-1	勾配	23	C	
20	40	深江	42	R I ・加速器実験棟	A-1	防水	22	C	
21	40	深江	53	熱工学実験棟	A-1	防水	22	C	
22	40	深江	59	エネルギー工学実験棟	A-1	防水	22	C	
23	1	六甲台1	17	社会科学系図書館書庫B棟	A-1	防水	21	C	
24	1	六甲台1	65	社会科学系図書館書庫B棟	A-1	防水	21	C	
25	2	六甲台2	98	自然科学総合研究棟1号館	A-1	防水	21	C	
26	2	六甲台2	118	研究基盤センターアイソトープ部門	A-1	防水	21	C	
27	2	六甲台2	119	渡り廊下	A-1	防水	21	C	
28	2	六甲台2	120	国際教育総合センター・神大会館	A-1	防水	21	C	
29	40	深江	18	2号館（南棟）	A-1	防水	21	C	
30	2	六甲台2	122	自然科学総合研究棟2号館	A-1	防水	20	C	

部位：屋根

2021

連番	団地番号	団地名	棟番号	棟名称	施設区分	種別等	経年	部位別評価	
								総合評価	コメント
31	40	深江	76	総合学術交流棟	A-1	防水	20	C	
32	2	六甲台2	45	工学部本館(C1・1W・1E)	A-1	防水	18	C	
33	2	六甲台2	100	自然科学系図書館	A-1	防水	18	C	工事中
34	40	深江	7	海事博物館・講堂	A-1	防水	18	C	
35	2	六甲台2	2	理学部本館（総合研究棟）	A-1	防水	17	C	
36	2	六甲台2	26	農学部本館（E棟）	A-1	防水	17	C	
37	2	六甲台2	26	農学部本館（E棟以外）	A-1	防水	17	C	
38	2	六甲台2	61	工学会館	A-2	勾配	17	C	
39	2	六甲台2	101	六甲台南食堂	A-2	勾配	15	C	

部位：外壁

2021

連番	団地番号	団地名	棟番号	棟名称	施設区分	種別等	経年	部位別評価	
								総合評価	コメント
1	40	深江	76	総合学術交流棟	A-1	タイルB	20	D	
2	4	鶴甲1	1	共通教育化学実験室	A-1	塗装	58	C	
3	2	六甲台2	102	構造物試験室	A-1	塗装	55	C	
4	5	鶴甲2	3	食堂	A-2	塗装	53	C	
5	5	鶴甲2	6	更衣室	A-2	塗装	53	C	
6	11	鶉野	7	育成牛舎	A-1	塗装	52	C	
7	11	鶉野	8	肥育牛舎A	A-1	塗装	51	C	
8	40	深江	8	正門守衛所	A-2	塗装	51	C	
9	40	深江	11	1号館	A-1	塗装	44	C	
10	2	六甲台2	72	風洞実験室棟	A-1	塗装	43	C	
11	40	深江	53	熱工学実験棟	A-1	塗装	41	C	
12	1	六甲台1	62	課外活動第1共用施設	A-2	塗装	40	C	
13	4	鶴甲1	36	更衣室	A-2	塗装	38	C	
14	36	名谷	8	環境整備員室	A-2	塗装	36	C	
15	40	深江	59	エネルギー工学実験棟	A-1	塗装	35	C	
16	4	鶴甲1	39	門衛所	A-2	タイルB	34	C	
17	40	深江	18	2号館（南棟）	A-1	塗装	34	C	
18	2	六甲台2	106	工学部講義棟	A-1	塗装	32	C	
19	40	深江	60	体育館・課外活動共用施設	A-2	塗装	31	C	
20	2	六甲台2	107	学術交流会館	A-2	タイルB	30	C	
21	40	深江	7	海事博物館・講堂	A-1	タイルB	28	C	
22	2	六甲台2	110	電気室	A-1	タイルB	27	C	
23	2	六甲台2	111	眺望館	A-2	タイルB	27	C	
24	40	深江	61	水先教育研究棟	A-1	塗装	27	C	
25	40	深江	62	屋内プール	A-2	塗装	27	C	
26	40	深江	69	極低温実験棟	A-1	塗装	25	C	
27	36	名谷	10	渡り廊下	A-1	塗装	23	C	
28	2	六甲台2	120	国際教育総合センター・神大会館	A-1	タイルB	21	C	
29	2	六甲台2	97	人文化学研究科校舎（C棟）	A-1	塗装	15	C	
30	2	六甲台2	101	六甲台南食堂	A-2	タイルB	15	C	

部位：外壁

2021

連番	団地番号	団地名	棟番号	棟名称	施設区分	種別等	経年	部位別評価	
								総合評価	コメント
31	5	鶴甲2	1	本館（A）	A-1	塗装	14	C	
32	7	楠	55	研究棟D	A-1	塗装	14	C	
33	7	楠	63	研究棟C	A-1	塗装	11	C	
34	1	六甲台1	63	社会科学系図書館管理棟	A-1	タイルA	8	C	

部位：受変電設備

2021

連番	団地番号	団地名	棟番号	棟名称	施設区分	種別等	経年	部位別評価	
								点検評価	コメント
1	8	明石	27	附属小学校東体育館	A-1	旧中学校電気室	53	C	
2	40	深江	11	1号館	A-1	第4電気室	39	C	
3	40	深江	7	海事博物館・講堂	A-1	第6電気室	38	C	

部位：電話交換機

2021

連番	団地番号	団地名	棟番号	棟名称	施設区分	種別等	経年	部位別評価	
								点検評価	コメント
1	15	深田	3	学而荘	A-2	NEC(株)	20	C	
2	10	大久保	1	本館	A-1	NEC(株)	20	C	

部位：自火報受信機

2021

連番	団地番号	団地名	棟番号	棟名称	施設区分	種別等	経年	部位別評価	
								点検評価	コメント
1	2	六甲台2	118	研究基盤センターアイソトープ部門	A-1	P型1級複合	22	C	
2	2	六甲台2	120	国際教育総合センター・神大会館	A-1	P型1級複合	22	C	
3	2	六甲台2	98	自然科学総合研究棟1号館	A-1	P型1級	21	C	
4	2	六甲台2	123	自然科学総合研究棟3号館西	A-1	P型1級	21	C	
5	1	六甲台1	76	社会科学系アカデミア館	A-1	P型1級	20	C	
6	2	六甲台2	45	工学部本館（総合研究棟）	A-1	GR型複合	20	C	
7	4	鶴甲1	39	門衛所	A-2	GR型複合	15	C	液晶画面不具合有
8	5	鶴甲2	4	門衛所	A-2	GR型複合	15	C	

部位：非常放送主装置

2021

連番	団地番号	団地名	棟番号	棟名称	施設区分	種別等	経年	部位別評価	
								点検評価	コメント
1	2	六甲台2	107	学術交流会館	A-2	TOA(株)	31	C	
2	2	六甲台2	123	自然科学総合研究棟3号館西	A-1	TOA(株)	21	C	
3	1	六甲台1	76	社会科学系アカデミア館	A-1	日本ビクター(株)	20	C	

部位：照明設備

2021

連番	団地番号	団地名	棟番号	棟名称	施設区分	経年	部位別評価	
							点検評価	コメント（特殊事情等）
1	2	六甲台2	52	厩舎	A-2	68	C	
2	40	深江	11	1号館	A-1	68	C	
3	40	深江	12	附属図書館海事科学分館書庫	A-1	68	C	
4	4	鶴甲1	12	部室棟	A-2	60	C	
5	40	深江	18	2号館（南棟）	A-1	60	C	
6	4	鶴甲1	1	共通教育化学実験室	A-1	58	C	
7	4	鶴甲1	18	学生会館	A-2	55	C	
8	11	鶉野	30	肥育牛舎B	A-1	54	C	
9	40	深江	7	海事博物館・講堂	A-1	54	C	
10	40	深江	22	東門守衛所	A-2	54	C	
11	5	鶴甲2	3	食堂	A-2	53	C	
12	5	鶴甲2	4	門衛所	A-2	53	C	
13	5	鶴甲2	6	更衣室	A-2	53	C	
14	8	明石	27	附属小学校東体育館	A-1	53	C	
15	11	鶉野	6	繁殖分娩牛舎	A-1	52	C	
16	11	鶉野	7	育成牛舎	A-1	52	C	
17	11	鶉野	8	肥育牛舎A	A-1	51	C	
18	40	深江	8	正門守衛所	A-2	51	C	
19	40	深江	9	6号館	A-1	50	C	
20	4	鶴甲1	22	音楽練習室	A-2	48	C	
21	40	深江	41	水素実験棟	A-1	47	C	
22	40	深江	46	事務棟	A-2	45	C	
23	40	深江	50	大学会館・食堂	A-2	42	C	
24	11	鶉野	33	学生宿泊施設	A-1	41	C	
25	40	深江	42	R I ・加速器実験棟	A-1	41	C	
26	40	深江	53	熱工学実験棟	A-1	41	C	
27	1	六甲台1	62	課外活動第1 共用施設	A-2	40	C	
28	1	六甲台1	64	社会科学系図書館書庫A棟	A-1	40	C	
29	1	六甲台1	65	社会科学系図書館書庫B棟	A-1	40	C	
30	4	鶴甲1	36	更衣室	A-2	38	C	

部位：照明設備

2021

連番	団地番号	団地名	棟番号	棟名称	施設区分	経年	部位別評価	
							点検評価	コメント（特殊事情等）
31	1	六甲台1	71	実習観察園管理棟	A-2	36	C	
32	2	六甲台2	101	六甲台南食堂	A-2	36	C	
33	15	深田	3	学而荘	A-2	36	C	
34	36	名谷	8	環境整備員室	A-2	36	C	
35	40	深江	57	5号館	A-1	36	C	
36	40	深江	59	エネルギー工学実験棟	A-1	35	C	
37	4	鶴甲1	39	門衛所	A-2	34	C	
38	2	六甲台2	65	都市安全実験棟	A-1	32	C	
39	40	深江	60	体育館・課外活動共用施設	A-2	31	C	
40	2	六甲台2	107	学術交流会館	A-2	30	C	
41	10	大久保	11	日常生活訓練施設	A-1	28	C	
42	1	六甲台1	47	第3学舎（東）	A-1	27	C	
43	2	六甲台2	108	バイオシグナル総合研究センター棟	A-1	27	C	
44	2	六甲台2	110	電気室	A-1	27	C	
45	2	六甲台2	111	眺望館	A-2	27	C	
46	5	鶴甲2	26	校舎棟（G）	A-1	27	C	
47	7	楠	94	研究棟A	A-1	27	C	
48	40	深江	62	屋内プール	A-2	27	C	
49	1	六甲台1	75	第5学舎（南）	A-1	25	C	
50	1	六甲台1	75	第5学舎（北）	A-1	25	C	
51	4	鶴甲1	41	共通教育本館・校舎棟（K棟）	A-1	25	C	
52	4	鶴甲1	42	高井記念スポーツ会館	A-2	25	C	
53	7	楠	97	管理棟	A-2	25	C	
54	7	楠	98	渡り廊下	A-1	25	C	
55	40	深江	69	極低温実験棟	A-1	25	C	
56	2	六甲台2	112	産官学連携本部	A-1	24	C	
57	2	六甲台2	114	研究基盤センター機器分析部門	A-1	24	C	
58	40	深江	72	海洋教育研究基盤センター	A-1	24	C	
59	36	名谷	9	研究実習棟	A-1	23	C	
60	36	名谷	10	渡り廊下	A-1	23	C	

部位：照明設備

2021

連番	団地番号	団地名	棟番号	棟名称	施設区分	経年	部位別評価	
							点検評価	コメント（特殊事情等）
61	2	六甲台2	118	研究基盤センターアイソトープ部門	A-1	21	C	
62	2	六甲台2	119	渡り廊下	A-1	21	C	
63	2	六甲台2	120	国際教育総合センター・神大会館	A-1	21	C	
64	2	六甲台2	121	山口誓子記念館	A-2	21	C	
65	40	深江	23	機関実験実習センター便所	A-2	21	C	
66	40	深江	27	先端ものづくり工房	A-1	21	C	
67	2	六甲台2	3	共同実験室	A-1	20	C	
68	2	六甲台2	99	情報基盤センター本館	A-1	20	C	
69	2	六甲台2	122	自然科学総合研究棟2号館	A-1	20	C	
70	40	深江	76	総合学術交流棟	A-1	20	C	

部位：空調設備

2021

連番	団地番号	団地名	棟番号	棟名称	施設区分	種別等	経年	部位別評価	
								点検評価	コメント
1	40	深江	57	5号館	A-1	EHP	36	C	
2	40	深江	18	2号館（南棟）	A-1	EHP	35	C	
3	40	深江	42	R I ・加速器実験棟	A-1	EHP+ACU	30	C	
4	40	深江	46	事務棟	A-2	EHP	30	C	
5	2	六甲台2	17	本部管理棟	A-2	EHP	28	C	
6	40	深江	9	6号館	A-1	EHP	28	C	
7	5	鶴甲2	26	校舎棟（G）	A-1	EHP	27	C	
8	7	楠	94	研究棟A	A-1	EHP	27	C	
9	1	六甲台1	75	第5学舎（南）	A-1	EHP	25	C	
10	1	六甲台1	75	第5学舎（北）	A-1	EHP	25	C	
11	4	鶴甲1	41	共通教育本館・校舎棟（K棟）	A-1	GHP+EHP	25	C	
12	4	鶴甲1	42	高井記念スポーツ会館	A-2	EHP	25	C	
13	7	楠	97	管理棟	A-2	EHP	25	C	
14	40	深江	10	附属図書館海事科学分館	A-1	EHP	25	C	
15	40	深江	69	極低温実験棟	A-1	EHP	25	C	
16	2	六甲台2	112	産官学連携本部	A-1	EHP	24	C	
17	2	六甲台2	114	研究基盤センター機器分析部門	A-1	EHP	24	C	
18	40	深江	72	海洋教育研究基盤センター	A-1	EHP	24	C	
19	2	六甲台2	70	環境防災実験室棟	A-1	EHP	23	C	
20	2	六甲台2	99	情報基盤センター本館	A-1	EHP	23	C	
21	40	深江	11	1号館	A-1	EHP+GHP	22	C	
22	2	六甲台2	106	工学部講義棟	A-1	EHP	21	C	
23	2	六甲台2	118	研究基盤センターアイソトープ部門	A-1	EHP	21	C	
24	2	六甲台2	120	国際教育総合センター・神大会館	A-1	EHP	21	C	
25	2	六甲台2	121	山口誓子記念館	A-2	EHP	21	C	
26	11	鶉野	15	実験棟（B）	A-1	EHP	21	C	
27	11	鶉野	16	実験棟（A）	A-1	EHP	21	C	
28	40	深江	27	先端ものづくり工房	A-1	EHP	21	C	
29	2	六甲台2	98	自然科学総合研究棟 1号館	A-1	GHP+EHP	20	C	
30	2	六甲台2	122	自然科学総合研究棟 2号館	A-1	EHP	20	C	

部位：空調設備

2021

連番	団地番号	団地名	棟番号	棟名称	施設区分	種別等	経年	部位別評価	
								点検評価	コメント
31	40	深江	76	総合学術交流棟	A-1	GHP+EH P	20	C	
32	1	六甲台1	19	法科大学院自習棟	A-1	GHP	19	C	
33	2	六甲台2	124	自然科学総合研究棟3号館東	A-1	GHP+EH P	19	C	
34	2	六甲台2	45	工学部本館（総合研究棟）	A-1	GHP	18	C	
35	2	六甲台2	62	機械工学科棟（総合研究棟）	A-1	GHP	18	C	
36	2	六甲台2	2	理学部本館（総合研究棟）	A-1	GHP	17	C	

部位：電源設備

2021

連番	団地番号	団地名	棟番号	棟名称	施設区分	種別等	経年	部位別評価	
								点検評価	コメント
1	2	六甲台2	110	電気室	A-1	自家発電用	27	C	発電機用
2	2	六甲台2	16	特高受電所	A-1	制御用	20	C	特高受変電機器制御用

部位：昇降機

2021

連番	団地番号	団地名	棟番号	棟名称	施設区分	種別等	経年	部位別評価	
								点検評価	コメント
1	40	深江	10	附属図書館海事科学分館	A-1	T-20	38	D	部品供給停止

部位：トイレ

2021

連番	団地番号	団地名	棟番号	棟名称	大規模改修年	施設区分	経年	備考
1	40	深江	18	2号館（南棟）	なし	A-1	60	
2	40	深江	22	東門守衛所	なし	A-2	54	
3	5	鶴甲2	3	食堂	なし	A-2	53	
4	5	鶴甲2	4	門衛所	なし	A-2	53	
5	40	深江	8	正門守衛所	なし	A-2	51	
6	40	深江	9	6号館	なし	A-1	50	
7	40	深江	46	事務棟	なし	A-2	45	
8	2	六甲台2	73	都市安全研究棟	なし	A-1	42	
9	40	深江	50	大学会館・食堂	なし	A-2	42	
10	1	六甲台1	71	実習観察園管理棟	なし	A-2	36	
11	15	深田	3	学而荘	なし	A-2	36	
12	40	深江	59	エネルギー工学実験棟	なし	A-1	35	
13	4	鶴甲1	39	門衛所	なし	A-2	34	
14	40	深江	60	体育館・課外活動共用施設	なし	A-2	31	保健管理センターは2012年改修済み